

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	森のまちエコセンター放射能対策事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター			
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内土地所有者から発生する草木等を処分する市民等	意図	東京電力福島第一原子力発電所事故の放射能影響により、焼却処理ができない草木等を適正に管理する。
事業内容	東京電力福島第一原子力発電所事故により、事故前に森のまちエコセンターで製造していた森のエコ堆肥が販売できなくなったこと、さらに焼却施設における焼却灰の放射能濃度が高くなり焼却処分できなくなったことが合わさり、市内で発生する草木等を森のまちエコセンターの隣接地（旧清美園）で一時仮保管するとともに、粉碎チップ化し、適正に処理処分を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	市内で発生する草木等を森のまちエコセンターの隣接地（旧清美園）で一時仮保管している草木等の量については、人口増と関係なく、一定量が継続的に搬入されている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	仮置き剪定枝搬入量	2898.74	3057.76	2881.11	t	↓↓↓
②	仮置き草類（焼却場搬入不可物）搬入量	2477.47	2401.63	2418.76	t	↓↓↓	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 草木等の適正な管理を行うため、破碎機により防音対策として、防音シートを設置するとともに、破碎中の悪臭を防止するため消臭剤の散布を適宜、行った。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	296,708,903	241,318,095	208,471,158				
事業費(b)(円)	289,178,903	234,453,095	200,416,758				
うち一般財源	289,178,903	234,453,095	200,416,758				
職員給与と費(c)(円)	7,530,000	6,865,000	8,054,400				
人役・職員(人)	1.00	1.00	1.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	草木等を一時仮保管する上で、管理の徹底を図る。	③取組の課題	草木等の一時仮保管中における管理体制を継続したい。
②今年度(H29)に実施した取組	継続的に剪定枝及び草木を減容化し適正に処理処分した。	④今後(H30以降)の改善計画	剪定枝及び草木を継続的に減容化する。